

マネージメント情報

※ 育成牛の管理について

最近感じるがあります。

数年前と比べると農場での環境が変化し、ますます忙しくなったのか？皆さんの体がいうことをきかなくなってきたのか？様々な点で後退(ロス)しているのでは…？と

今回はそう感じる中で育成牛の管理について実際の農場の例を紹介しながら、みなさんに今一度何かを感じて欲しいと思います。

Y農場の初産は平均分娩月齢23ヶ月、平均授精回数1.3回、育成牛での発情誘起の治療牛は20%以下です。10～11ヶ月で初回発情が発現し生殖器の発育も申し分ありません。現実には妊娠しなければならない14～15ヶ月令で生殖器の発育がままならない農場が何軒もあります。生まれた時には殆ど同じ状況であるはず牛達なのに、何故にこうも育成牛の状況が違うのでしょうか？

今回はYさんに約半年間繁殖検診の度にお問い合わせし続けて、「我が家の育成管理について」という題で原稿を書いていただきました。(片思いの彼女をようやく口説けた感じです)

実際の状況をみなさんに理解していただけるように、書いていただいた内容の項目毎に私が質問するという形式になっていて逆に読みにくいかもしれませんが、その意図をくんでいただければと思います。

→ 別紙へ

※ なでしこジャパンの澤穂希の記事で感じた事

年明け早々、FIFAの2011年度女子バロンドール(年間最優秀選手賞)に澤穂希選手が選出されました。昨年そんな澤選手のある記事を読んで、酪農と同じだなあ～と思いました。

「一番じゃない」澤が「世界一」に選ばれた理由 (1/2)

FIFA年間最優秀選手受賞を引き寄せたもの

2011年の夏の終わり。つい数カ月前に女子ワールドカップ(W杯)のMVPに輝いていた澤穂希は、こんなことをつぶやいた。

「わたしは、何も一番じゃないんです」

なでしこジャパン(女子日本代表)の合宿では、時折、選手の運動能力テストを行っている。持久力やダッシュ力、ジャンプ力などを測定するのだが、澤はどの種目でもトップになったことがないという。なでしこジャパンの中で、飛び抜けて得意な種目もなければ、飛び抜けて苦手な種目もない。「だから、澤穂希という選手は、言ってみれば平均点のサッカー選手なんですよ」

この言葉に象徴される謙虚さこそが、澤を世界の頂点にまで引き上げた原動力なのだろう。振り袖姿でステージに上がった澤は、受賞の喜びを淡々と述べた。そのスピーチの中に、やはり彼女らしいフレーズがあった。

「このような素晴らしい賞をいただいたのは、会長、監督、コーチ、チームメート、家族、友だち、今まで女子サッカーに携わってくれた、すべての方々のおかげだと思っています」

受賞したのは自分だけれど、自分1人で賞にたどり着いたのではない。「一番じゃない」澤は、舞い上がることなく、自分を客観視しているのだ。

澤は事あるごとに「サッカーは1人でやるものではない」と言い、「仲間との団結力」を勝利の糧とする。全員が献身的にプレーするからこそ、総合力で相手を退けられると胸を張る。

誰もが舌を巻くような、圧倒的なパワーやスピードは持っていない。その代わり澤は、自他ともに認める「研ぎすまされた感覚」を持った選手だ。「ここでボールを奪える」「ここにパスを通せる」「ここにボールが来る」。そのような感性豊かなプレーで、長年チームをけん引してきた。

自分を特別な選手だとは、決して思わない。浮き沈みなく、淡々と、毎日それが当たり前だと言わんばかりに努力を重ねていく。ひょっとしたら、わたしたち日本国民にとって特別な日となった、FIFA年間表彰式のこと、澤はすでに過去の出来事と割り切って、振り返ることすらしないかもしれない。

勝利も敗北もない「いま」を生きる。そんな日々の積み重ねが、澤をどこまでも高い場所へと連れていく。

江橋よしのり スポーツナビ 2012年1月10日(火) より抜粋

酪農経営も何かが一番であっても成り立ちません。どこかが劣っていればそこに制限されてしまいます。しかも一番の問題点＝結果になってしまいます。

.....

・新年あけましておめでとうございます

さて、今年は何んな年になるのか？ 気になるところは TPP、衆議院の解散？、酪農はどこへ向かっていくのでしょうか？

今回のこのM情報の中でふたつの事を紹介させていただきましたがヒントはそこにあると思っています。全ては毎日毎日それぞれの基本をどれだけ実践できるかという事につきると思います。それをキープできれば何も恐れるに足らないと思います。

酪農の基本、経営の基本、大きい農場では雇用管理の基本…、難しく考えずに基本を守る事ただそれだけだと思っています。

今年もよろしくお願ひします。

・「物忘れが良くなってきた？」

昨年、あるお客さんとの会話の中ででてきた言葉です。本当にイヤになってしましますが、年とともに物忘れ、目が見えない…、聞こえない…、あれっ…？と思うことが頻繁になってきます。

何でもポジティブに考えると気分は変わるものですね！

「物忘れが悪くなる」のではなく、「物忘れが良くなる」。私は「物忘れ」ってそんなに悪くないような気分になってきました。さて、みなさんはどうでしょうか？